千葉大学医学部附属病院でミトタンで治療された副腎皮質癌およびクッシング症候群患者の皆様、ご家族の皆様へ

２０２６年９月１７日

糖尿病・代謝・内分泌内科

糖尿病・代謝・内分泌内科では、副腎皮質癌および手術不能クッシング症候群におけるミトタン血中濃度と治療効果および副作用との関連性の検討に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

２０１３年４月１日～２０２６年９月１７日の間にミトタンで治療を受けていた副腎皮質癌および手術不能なクッシング症候群の方

１．研究課題名

「副腎皮質癌と手術不能クッシング症候群における、ミトタン血中濃度と治療効果および副作用との関連性の検討」

２．研究期間

２０２６年承認日～２０２８年３月３１日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

３．研究の目的・方法

副腎ホルモンの一種であるコルチゾールの分泌過剰で起こるクッシング症候群、および副腎という臓器からできる副腎皮質癌の患者さんに対するミトタンの有効となる患者の特徴を明らかにします。２０１３年４月１日から２０２６年９月１７日の間において、診療録に記載されている投与中の情報を解析します。

４．研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、ホルモンなどの採血・採尿結果、レントゲン・CT・MRI による病気の大きさや数などの画像評価、および病気による症状や副作用を調べます。

５．研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：糖尿病・代謝・内分泌内科　鈴木　佐和子

６．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）

７．研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒２６０－８６７７

千葉県千葉市中央区亥鼻１－８－１

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥　精司）

糖尿病・代謝・内分泌内科
医師　鈴木佐和子
０４３（２２２）７１７１　内線５２５５
相談可能日時：
月曜　終日
火曜　13:00～17:00
水曜　終日
木曜　14:00～17:00
金曜　13:00～17:00